

# 『捨てるもの』から『使うもの』『遊ぶもの』へ リサイクル工作体験会

社会奉仕委員会 委員長 竹村 陽子

旭川モーニングロータリークラブ（福居 恵美子会長）では、『ロータリーを祝おう』100年度に称えるべく迎えたロータリーの歴史は困難な数々の人道的、教育的プログラムに挑戦し、それを成し遂げた歴史と、100年にわたるロータリーの奉仕活動を地域社会に広報し、この人道的プロジェクトが記憶に残る機会として地域社会とともにロータリーの活動目的の拡大を図り、水資源・環境問題に取り組む、豊かなモーニング RC 奉仕活動の歴史と旭川市の『ゴミのポイ捨て禁止運動』の提唱クラブとして、また、ロータリー共通の大義、地球環境問題を受けて、旭川モーニング RC リサイクル工作体験会を、旭川市全小学校を対象にゴミのリサイクル化を課題に『捨てるもの』から『使うもの』『遊ぶもの』へリサイクル工作体験会を常盤市民ホールで平成 16 年 10 月 31 日開催した。



ゴミについて理解を深め、ゴミの有効活用を考える、親子間のコミュニケーションの機会とし、家庭でのゴミを楽しく活用でき、学びの場とすることを目的に、会場には約80名余の小学低学年と親子が参集して楽しく盛会に開催した。

この催しには、旭川市教育委員会・旭川市環境部・旭川市市民委員会連絡協議会環境部会の協賛を戴



き福居恵美子会長の挨拶に始まり、旭川市環境部リサイクル推進課鈴木博晶係長がゴミのリサイクルに

ついてスピーチ、今回特にリサイクル工作のしおり作製に協力戴いた講師に絵本作家の堀川真氏を招き作品の作り方を説明して戴き、ゴミを減らす・繰り返し使う・再生利用するゴミ減量・3つのキーワードの元に「牛乳パックで写真フレーム」「買い物に付いてくるトレーで小物入れ」を・「針金ハンガーでうなる弓」を・「古ハガキで紙飛行機」を・「書き損じはがきによるニョキニョキ虫」を・「ビニール袋でグニャグニャたこ」



を親子で楽しく作り合い親子のコミュニケーションが一段と深められ、多用であり、参加したロータリアンは役割分担宜しく先生の役割を十分に発揮していた。

工作の終わり頃にはお汁粉も振る舞われ、最後は天候にも恵まれ作品を手にして近くの常盤公園煮て、凧あげや、紙飛行機、うなる弓などで遊び3時間余にわたり、楽しく遊び学びました。

父親の参加も多く見られ、親子間の対話の機会が少ない昨今、和気藹々と交錯している姿は微笑ましく、当RCも多くの会員の協力の下で、地域の人達と、また一つのモーニングRCらしい結束と友情の輪が広がった事業となりました。



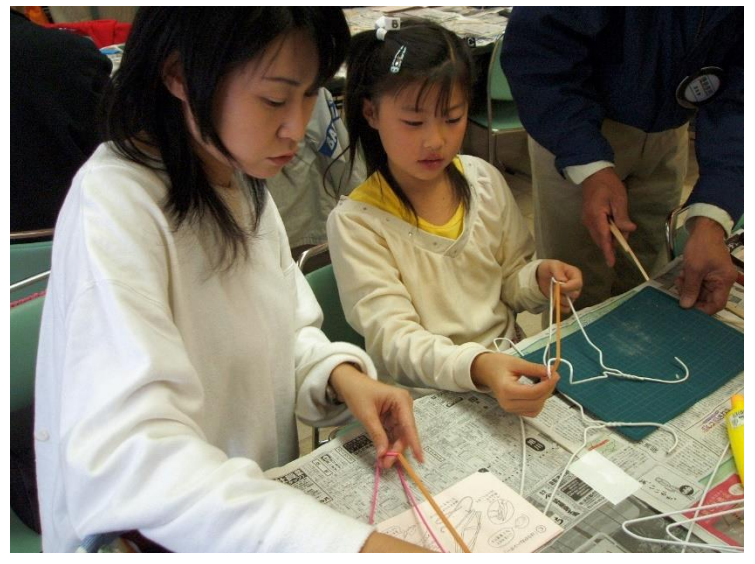
なお当日は、新潟中部地震被災者への義援金を募り、23,149円を春光郵便局より現地に送金することが出来ました。



まか、この行事を記念して『リサイクル工作のしおり』30,000部を作成し、市内全小学校低学年全員と各公民館、図書館、

児童館、留守家庭児童会など各関係機関に配布、小学校派の寄贈は毎年続け、低学年の家庭からリサイクルの関心を持って貰うためにも、モーニングRCとして地域との関わりをさらに強めていくことの誓いを深めた事業となった。







前日夜は本番の準備作品を作るロータリアン

